HOMETOWN OF CHUO SHINKANSEN NAKATSUGAWA

令和 8 年 11 月 11 日
中津川市 報道発表資料

第 74 回中津川市民展を開催します

中津川市民展に応募があった作品の展示会を開催します。また、最終日には表彰式と講評会を行い、入賞作品 65 点の表彰を行います。

■展示会

◇日時　令和 8 年 11 月 14 日（土曜日）～ 11 月 22 日（日曜日）
10 時 00 分～17 時 00 分
※20 日（金曜日）は 20 時 00 分まで、22 日（日曜日）は 14 時 30 分まで

◇場所　中津川市中央公民館　2 階（中津川市本町 2 丁目 3 番 25 号）

◇入場料　無料

■作品内訳

部門	展　示 作品数	内訳		
		一般 （うち高校生）	招　待	審査員
洋画	４２	２８（１）	１２	2
日本画	３０	２４（０）	4	2
版画	9	9（０）	0	0
書	７７	６２（１）	１３	2
写真	５４	５０（１）	2	2
工芸	２２	１９（０）	1	2
自由表現	２７	２５（１７）	0	2
合計	２６１	２１７（２０）	３２	１２

■入選数

11 月 9 日（月曜日）に審査会を行い 65 点が入賞

・市長賞　　各部門 1 点（計 5 点）　　副賞 5 万円
・議長賞　　各部門 1 点（計 7 点）　　副賞 3 万円
・教育長賞　各部門 1 点（計 6 点）　　副賞 2 万円
・奨励賞　　全 43 点　　副賞 1 万円
・かやの木賞　招待作品の中から 4 点　　賞状
・きらめき賞　各部門 1 点（計 7 点）予定　賞状、記念品
※きらめき賞は 11 月 14 日(土曜日)～22 日(日曜日)の来館者投票により決定

次ページへ続く

■表彰式・講評会

◇日時　令和 8 年 11 月 22 日（日曜日）

表彰式：14 時 00 分～（受付 13 時 00 分～13 時 50 分）

講評会：14 時 40 分頃～15 時 40 分（表彰式が終わり次第、1 時間程度）

◇場所　表彰式：中央公民館　3 階　体育室

講評会：中央公民館　2 階　各展示室にて同時開催（一般公開）

■審査員（敬称略）

【洋画／版画】花田勝太郎、坂巻　登水
【日本画】　田口　昌宏、吉村惠美子
【書】　洞田　和園、川上喜八郎
【写真】　近藤　龍宏、橋本　充弘
【工芸】　青山　鉄郎、伊藤　恭子
【自由表現】　洞田　和雄、石田　昇

■入賞者

別紙 1「第 74 回中津川市民展入賞者リスト」をご参照ください。

■市長賞入賞作品とその講評

別紙 2「第 74 回中津川市民展　市長賞入賞作品」をご参照ください。

お問い合わせ先
文化スポーツ部　文化課　文化係　担当者：林
電話：0573-66-1111（内線 4317）

別紙1

第74回中津川市民展入賞者リスト

	部門	審査結果	招待	氏名・雅号	住所	作品名	
1	洋画	市長賞		加藤　寿子	中津川市駒場	そっと咲く	
2	洋画	議長賞		長谷川　典子	恵那市	future	
3	洋画	教育長賞		柘植　美智子	中津川市馬籠	木漏れびの滝	
4	洋画	奨励賞		可知　喜久子	恵那市	蛭川絵画教室	
5	洋画	奨励賞		加藤　京子	中津川市中津川	宵の桜	
6	洋画	奨励賞		小木曽　未緒	中津川市中津川	幸せな時間	
7	洋画	奨励賞		中畑　陽子	長野県木曽郡	窓辺の祝祭	
8	洋画	奨励賞		安江　弘子	中津川市中津川	金山城跡	
9	洋画	かやの木賞	招待	梅村　郁子	中津川市中津川	朗読会「風の又三郎」	
10	日本画	市長賞		依馬　英子	恵那市	雨後	
11	日本画	議長賞		北野　ひとみ	中津川市茄子川	巡りくる春	
12	日本画	教育長賞		川井　庸弘	可児市	狙い	
13	日本画	奨励賞		津田　里菜	中津川市茄子川	征	
14	日本画	奨励賞		槙島　春枝	恵那市	寿老の滝	
15	日本画	奨励賞		宮口　邦雄	中津川市駒場	一途な幸せ	
16	日本画	奨励賞		向山　勝巳	中津川市中川町	なに見てる	
17	日本画	かやの木賞	招待	高木　美智子	中津川市日の出町	Blue grass(1)	
	版画	市長賞		※該当なし			
18	版画	議長賞		蘭　香津美	名古屋市	Vermeer’s　Reverie	※雅号
19	版画	教育長賞		櫻井　直樹	恵那市	竹内商店	
20	版画	奨励賞		佐々木　和哉	瑞浪市	救済の水瓶	
21	版画	奨励賞		篠原　紘一	中津川市茄子川	苗木城跡大矢倉	
	書	市長賞		※該当なし			
22	書	議長賞		宮川　藤園	土岐市	臨　金文	※雅号
23	書	教育長賞		三宅　千陽	恵那市	杜少陵詩	※雅号
24	書	奨励賞		井口　花恋	中津川市駒場	千字文	
25	書	奨励賞		岩久　政美	中津川市落合	黛	※雅号
26	書	奨励賞		西　恵香	中津川市手賀野	鹿島鎗	※雅号
27	書	奨励賞		長谷川　秋峯	中津川市茄子川	追憶	※雅号
28	書	奨励賞		三井　雅香	中津川市日の出町	風は宇宙の聲	※雅号
29	書	奨励賞		饗庭　和枝	中津川市中津川	海の蓮華	
30	書	奨励賞		安藤　明子	中津川市太田町	古今和歌集より4首	
31	書	奨励賞		井之上　峰悠	岐阜市	霊峰	
32	書	奨励賞		加藤　峰子	中津川市千旦林	大器晩成	

33	書	奨励賞		北住　基	中津川市花戸町	万葉集より2首	
34	書	奨励賞		篠原　喜代美	中津川市駒場	心月輪	
35	書	奨励賞		鈴村　めぐみ	恵那市	佐藤一斎のことば	
36	書	奨励賞		西田　美香	中津川市千旦林	疾風に勁草を知る	
37	書	奨励賞		吉川　紀代子	中津川市淀川町	光風	
38	書	奨励賞		田口　秋水	中津川市茄子川	仁譲	※雅号
39	書	かやの木賞	招待	伊藤　理恵	中津川市太田町	見付拓の詩	
40	写真	市長賞		猪子　昇	多治見市根本町	寒い朝	
41	写真	議長賞		阿部　千恵子	名古屋市	日暮れ	
42	写真	教育長賞		光岡　幸則	中津川市茄子川	修験者	
43	写真	奨励賞		安藤　秀美	恵那市	五月の贈りもの	
44	写真	奨励賞		上田　千奈美	多治見市	黄昏	
45	写真	奨励賞		中洞　勇	中津川市本町	晩秋の譜	
46	写真	奨励賞		宮地　美和子	瑞浪市	アートへの道	
47	写真	奨励賞		森川　恭孝	恵那市	特別な夜	
48	写真	奨励賞		安江　敏保	中津川市日の出町	晩冬の奈良井宿にて	
49	写真	奨励賞		山田　徹	瀬戸市	街を疾走	
50	写真	奨励賞		吉村　清	中津川市下野	幾何学の中の人	
51	写真	かやの木賞	招待	吉村　緑	中津川市下野	虹色の夢を放つ夜	
52	工芸	市長賞		稲垣　美和子	恵那市	手織　着物　藍の世界Ⅰ	
53	工芸	議長賞		酒向　武一	美濃加茂市	痕	
54	工芸	奨励賞		伊藤　佳代子	恵那市	緑がいっぱい	
55	工芸	奨励賞		宍戸　敏美	中津川市落合	紫式部と「源氏物語の世界（光源氏の居城）	
56	工芸	奨励賞		久木　百合子	中津川市茄子川	粋	
57	工芸	奨励賞		牧野　敏夫	中津川市落合	錦秋（大鉢）	
58	工芸	奨励賞		森山　道子	中津川市蛭川	つぼ	
59	自由表現	市長賞		蘭　香津美	名古屋市	碧落祕儀	※雅号
60	自由表現	議長賞		糸井川　希音	中津川市苗木	Beauty Spot	
61	自由表現	教育長賞		森　咲くら	中津川市中津川	My Own World	
62	自由表現	奨励賞		大橋　高明	土岐市	雪起し	
63	自由表現	奨励賞		富喜	中津川市田瀬	マルゲリータ・シャングリラ	※雅号
64	自由表現	奨励賞		宮下　柊	中津川市手賀野	Lovers	
65	自由表現	奨励賞		村瀬　明日美	瑞浪市	古の神鹿	

別紙２

第 74 回中津川市民展　市長賞入賞作品

【洋画】

■市長賞　　加藤　寿子（中津川市駒場）
作品名「そっと咲く」



市長賞講評：
　遠くで見ても、近くで見てもインパクトがある作品にするのはなかなか難しい。
　主題とバックの遠景がマチエールとして描き込まれている。マチエールが全体的に良く、造形の強さも良い。

【日本画】

■市長賞　　依馬　英子（恵那市）
作品名「雨後」



市長賞講評：
　静かな森の中の一場面が描かれていますが、そこからは幽玄な空気感がよく表現されています。
　差し込んでくるひとすじの光が希望を象徴しているようで、とてもすばらしい作品です。

【版画】

■市長賞　　※該当なし

【書】

■市長賞　　※該当なし

【写真】

■市長賞　　猪子　昇（多治見市）
作品名「寒い朝」



市長賞講評：
　綺麗な作品である。
マゼンタ・イエロー・ブルーの三色で構成された光が、流れる雲海を幻想的な世界に創り上げている。作者の感性が観て取れる作品です。

【工芸】

■市長賞　　稲垣　美和子（恵那市）
作品名「手織　着物　藍の世界Ⅰ」



市長賞講評：

本年は染織の作品が多く出品され、綿の織物でしたが、藍染も糸も自分で？と地味な仕事ですが、織る楽しみも、着る楽しみも感じてみえることでしょう。藍のグラデーションに数本の黄色と、よこじまに個性を感じ、風合いもたしかなものでした。

【自由表現】

■市長賞　　蘭　香津美（あららぎ　かずみ）
（名古屋市）
作品名「碧落祕儀」



市長賞講評：

パソコンを使用して、パーツを巧みに構成し、観る者を引きつける世界を創り出しています。

天と地、自然と人工、神と人間に生と破壊を感じます。目を閉じた少女と、こちらを見つめ返す猫の目は、何を見ているのでしょうか。